

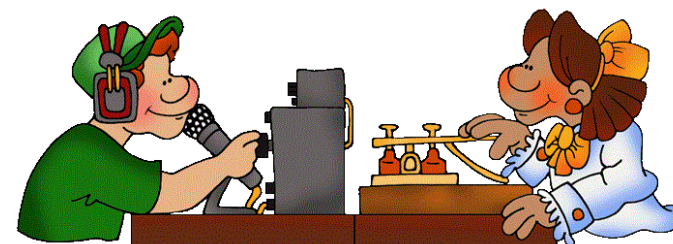
栄区内通信テスト

ー背景と概要ー

2024年度第2回支部長会

NOV. 23, 2024

資料作成：栄区支部 JK1FIH



栄区

- 市南西部 東は金沢区・磯子区、西は戸塚区、南は鎌倉市、北は港南区と隣接
- 中央をいたち川が東西に、西部を柏尾川が南北に流れる
- JR根岸線 本郷台駅
JR東海道線 大船駅(一部)
- 人口 約12万人
高齢化率は市内No.1
- 1986年 泉区とともに戸塚区より分区



栄区支部

デマが怖い
信頼できる情報が欲しい
普段から顔の見える関係
非常通信協力会の存在意義

■地域防災拠点 20か所

■支部会員 25名 ⇒ 弱小支部

発災直後に災対本部が最も欲しい情報
(区役所防災担当とのすり合わせによる)

- 発災時に地域防災拠点で長期間常駐し減災活動を行うことは不可能

■2012年支部討論会で発災時対応の手順を共有

- 発災直後の1-2時間は安全確保と自宅周辺の被災状況確認、各自自宅や自宅周辺で開局

交通要所の被災状況と広域火災の発生状況を重点的に情報収集、可能な限り発信(R1とR16を結ぶ横浜環状四号線、ドローンによる空撮)

- 発災後8時間程度は自宅周辺で**連続運用**、災対本部と情報共有
- その後20時間程度は**毎時定時連絡運用**、区役所局ローテーション
- その後一般通信回線の回復まで数日間は**3時間毎定時連絡運用**、地域防災拠点の**巡回支援**開始

■2021年福祉避難所を巡回支援対象に追加 25か所

- 高齢者・障がい者など、より災害弱者が在住もしくは避難する、なおかつ防災無線などが配備されていない



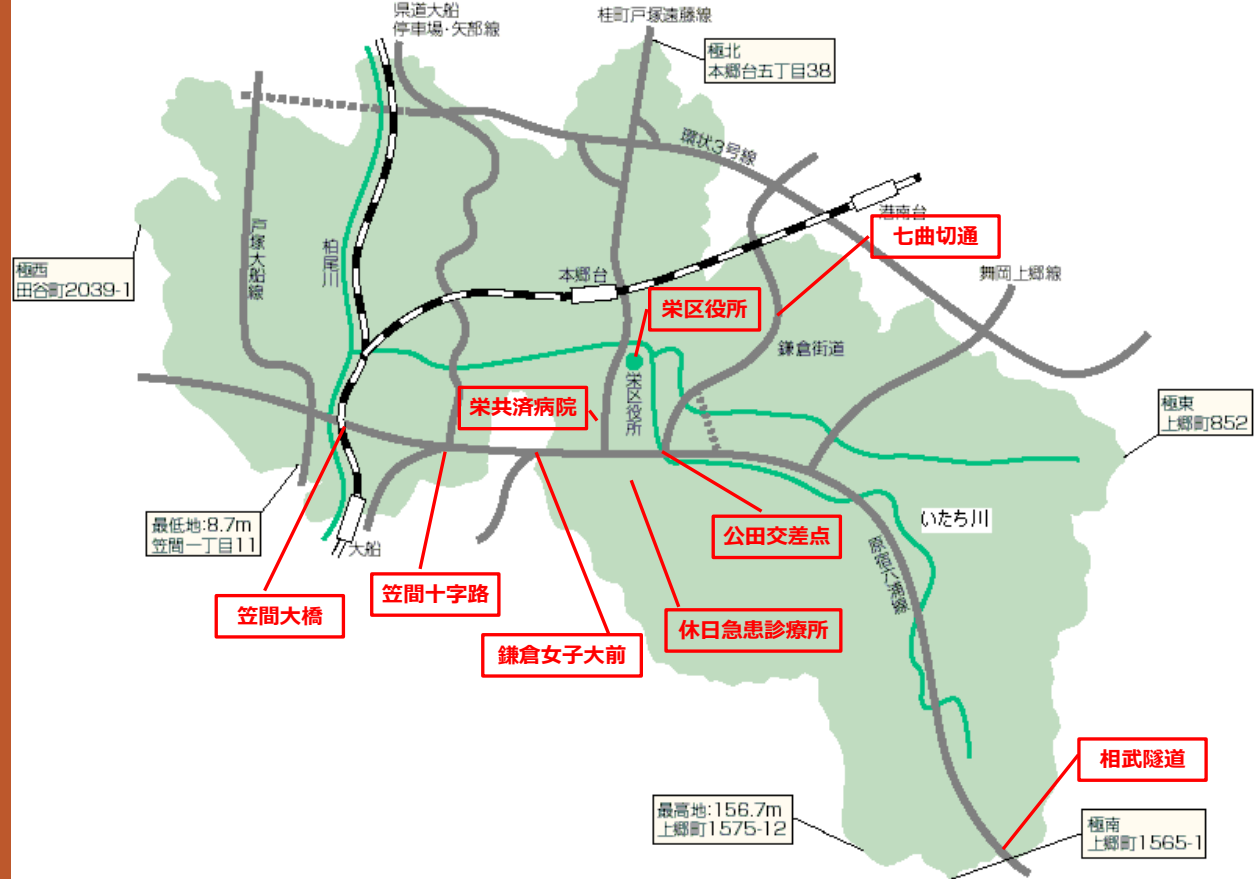
栄区内通信テスト

- 2018年度から毎年実施 2024年9月29日で7回目
- 複数年で地域防災拠点20か所、福祉避難所25か所をカバー
 - 144MHz帯/430MHz帯 FM ▶ **Simple is the Best**
- 巡回支援を行う移動局は原則徒歩・自転車・バイクで移動
 - 震災等でクルマが利用できないことを想定
- 移動局の装備は原則ハンディ機＋付属ホイップ
 - 機動性と長時間運用、Availability**を重視
- 通信テストではRSレポート交換のみ
 - 事後に運用地点の詳細情報(〇〇小学校東南側正門前、××特養ホーム西側通用口前路上etc.)を共有 ▶ **Best Point**を共有
- 拠点や福祉施設敷地内には立ち入らない
- 会員証を携行、トラブル時には提示して趣旨説明



2024年度 栄区内通信テスト

- 参加者は16名、うち2名が区役所局運用にあたった
- 伝搬条件が悪くなる438.24MHzをあえて選択
 - 区役所局JL1YIBは20W、15mH トライバンドGP
- 2024年度は移動先を地域防災拠点や福祉避難所に限定せず以下を自由に選択することとした
 - 被災時に救援部隊が栄区内に移動する際のボトルネック
(環状四号線相武隧道・笠間大橋、鎌倉街道七曲切通し)
 - 交通要所
(鎌倉街道公田交差点・鎌倉女子大前交差点、環状四号線笠間十字路)
 - 災害対応における重要地点
(横浜栄共済病院、休日急患診療所、交番、消防出張所、本郷台駅、大船駅)
- 14局が徒歩や自転車、バイクなどで移動し38地点をカバーした
- 移動局から区役所局へのレポートは1地点のみRS57、他は59
- 区役所局から移動局へのレポートは全地点R5、Sは5地点で1-3
 - いずれも丘陵地帯が伝搬上の障害になっていると考えられる



2024年度 栄区内通信テスト 移動地点マップ

